



御幸が原小・学校だより

考える葦

卒業記念号

令和5年3月15日発行

発行者 廻谷 敦士

小学校生活6年間を締めくくる卒業証書授与式が、いよいよ明日に迫りました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんが上学年として御幸が原小学校を支えてくれたこの3年間は、まさに、「with コロナ」の3年間で、「新しい生活様式」という名のもと、日常生活において様々な制限を受けました。学校生活においても、楽しみにしていた学校行事が、中止や規模を縮小しての開催となり、残念な思いをしたことも多かったのではないのでしょうか。そのような中、この1年間の6年生の活躍は、私がこの学校だよりの題名「考える葦」に込めた思いを、しっかりと体現してくれたように感じています。これからも、人間の最大の武器である「考える力」を最大限に発揮して、未来を切り開いていってくださることを期待しています。



3月14日の校舎

6年生の保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。まだ先の話ですが、成人年齢が引き下げられ、お子様が18歳になったと同時に、皆さんは「保護者」を卒業します。でも、「親」としての役割は生涯続きます。「大人は1人の生き方のモデル」であり、「親」は子供たちにとって、最大にして最も基本となるモデルだと思います。これからも、我が子に一人の大人としての範を示しながら、支え続けていってほしいと願っています。

6年間、本校教育に対しましてご理解・ご協力をいただいたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



卒業に向けて(感謝のメッセージ)



1-1



1-2



2-1



2-2



3-1



3-2



4-1

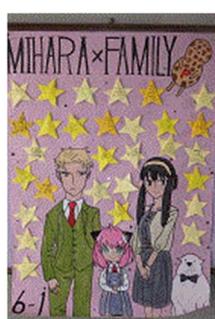
3月は、学校全体が6年生の卒業に向けて動く月。学校だより第10号では、2月に実施された卒業制作「ふくべ細工」と「6年生を送る会」の様子をお知らせしましたが、ここでは、在校生から6年生に、そして、6年生から在校生に送られた一人一人のメッセージ入りの掲示物を紹介します。クラスごとに工夫され、子供たち一人一人の思いが込められた素敵な掲示物が完成し、3階の6年教室前の廊下と1階の掲示板に飾られています。毎日の校内巡視で、このメッセージを目にするたびに卒業ムードが高まってきています。



5-1



4-2



6-1



6-2



5-2

旅立ちの儀式(卒業式予行練習・善行児童等表彰)

8日(水)に卒業式の予行練習を行いました。6年生の卒業に向けた意識も高まり、大変立派な態度で予行練習に臨んでいました。卒業式当日も在校生代表として式に参加する5年生は、堂々とした6年生の姿を見て、1年後の自分たちの卒業式というゴールを意識するとともに、「来年は最上級生として私たちが頑張らねば・・・」という決意を新たにしていました。



卒業式予行練習に先立ち、宇都宮市青少年賞や模範青少年証、善行児童等の表彰が行われました。これらの表彰は、他の模範となる行動が見られた6年生に対して、宇都宮市長や教育委員会、ライオンズクラブから送られるもので、御幸が原小の6年生15名が表彰されました。また、御幸が原小PTAからの卒業記念品も渡されました。

10日(金)奉仕作業

6年間の感謝の気持ちを込めて

5, 6校時に、廊下や階段、昇降口、体育館、理科室、マナーロードの水槽など、6年間お世話になった様々な場所をきれいにしてくれました。真剣なまなざしで、作業に向かう姿に、頼れる最上級生の風格が感じられるとともに、6年間お世話になった校舎への感謝の気持ちが伝わってきました。



先生方へ感謝のメッセージ



6年生が御幸が原小学校の教職員全員に、感謝の気持ちを込めて、メッセージカードを作ってくれました。一人一人が書いてくれた素敵なメッセージを読んで、とっても心が温かくなり、皆さんと過ごした時間が懐かしく思い出されました。これからの活躍を期待しています。